



雨だれ・その世界

落ちない雨だれの秘密

やぶちゃん

今日も雨か！

めずらしく秋の長雨。

突然浮かんだ言葉『擬音』

そう言えば擬音と言うのは良く出来ているな！

ポト・ポトン・ピチャン・・・

でも落ちる前の雨だれには残念ながら擬音はまだ無い。

ひとたび軒先を離れると、突然擬音を持つんだなあ？

などと雨だれを眺めながら、とりとめも無いことをポーっと考えて???

『うん？なに？』

落ちない雨だれ。

えどうして 落ちないんだろう。

あの雨だれ。

さっきから、両隣の雨粒軒先からポタポタと落ちているのに！

あの、雨だれはずっと落ちないぞ。

そう言えば、さっきから大きくなるけど落ちないぞ！

近づく！

不思議な雨だれ。。。。

ぐっと、近づく。。

『あれ、人じゃないの？』

『たくさんの人がいるじゃないか！』

『え〜っと、もっと近づく方法は？』

『あそうだ、マイクロスコープだ！』

。。。。。。

『これで、解るぞ！』

これじゃまるで！

『え、なんだ、これは！』

『たくさんの人が、いやうじゃうじゃ居るぞ！』

『あ、一番上の一人だけ下を向いて叫んでいるぞ！』

「下りろ」「下りろ」「下りろ」 「下りろ」 ・ ・ ・

『え、これって？』

『これって、まるで「蜘蛛の糸」じゃないか』

そして、雨粒は落ちていきました。

見る間に、雨粒が下に伸びていきました。

そして、雨粒は両隣の雨粒と同じように軒先から落ちていきました。

ポト・ポトン・ピチャン・・・

そして、雨粒はずっと滴り続けました。

ポト・ポトン・ピチャン・・・

ポト・ポトン・ピチャン・・・

ポト・ポトン・ピチャン・・・

雨だれ！

<http://p.booklog.jp/book/37915>

著者：やぶちゃん

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yabucyan-booklog/profile>

表紙の画像は『フォト蔵』から利用させていただきました。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37915>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37915>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.